

2019年8月20日(火)
愛知県経済産業局中小企業部
中小企業金融課
スタートアップ推進グループ
担当 藪下、佐藤
内線 3676、3678
ダイヤル 052-954-6331

知事のドイツ・ロシア・フランス渡航中の行事結果について

8月19日、知事はベルリンにおいて、スタートアップ・インキュベーション施設
ベータハウス
「Betahaus」を訪問した後、ベルリン州経済振興公社を訪問し、スタートアップ支援
政策について情報交換するとともに、本県との連携の促進について意見交換しました。
続いて、産学行政が共同で運営するスタートアップ・コワーキング施設である
インフララボ
「InfraLab」、ベルリン州政府において、意見交換を行った後、「Factory Berlin」を視察
しました。

1 Betahaus (ベータハウス) 訪問

(1) 日時

8月19日(月) 9:30~10:30 (日本時間 16:30~17:30)

(2) 場所

Betahaus (ベータハウス) (ベルリン)

(3) 面談者

マキシミアン・フォン・デア・アヘ代表

(4) 愛知県側出席者

大村知事

(5) 内容

初めにアヘ代表から施設概要の説明を受けた後、大村知事から、産業が集積する愛知県のポテンシャルや「Aichi-Startup 戦略」に沿って本県が進めるイノベーションの創出、モノづくり企業とスタートアップのマッチング、海外大学・支援機関との連携、支援拠点の整備検討などの取組を紹介した。

アヘ代表からは、「ベルリンはイノベーションの場所としてこの10年で大きく発展してきた。特にモビリティ分野に力を入れている。現在、グローバルなネットワークが重要となっており、愛知県との交流に大変関心がある」との発言があった。

大村知事から引き続き情報共有を図り、交流・連携を進めていきたいとの提案を行い、今後具体的な連携を進めていくことで合意した。

【Betahaus 概要】

○開設：2009年(元新聞印刷所をリノベーション)

○施設：5階建て、5,000 m²

コワーキングスペース、イベントスペース、会議室、ラボ、カフェ、キッチン

○運営者：BetaHaus 有限会社

○事業内容：アクセラレートプログラム、マッチング事業、スペース提供、イベント企画・運営



アへ代表との面談の様子



知事とアへ代表

2 ベルリン州経済振興公社訪問

(1) 日時

8月19日(月) 11:30~12:30 (日本時間 18:30~19:30)

(2) 場所

ベルリン州経済振興公社(ベルリン)

(3) 面談者

ステファン フランツケ CEO 等

(4) 愛知県側出席者

大村知事

(5) 内容

大村知事から、愛知のポテンシャルや「Aichi-Startup 戦略」に沿って本県が進めるスタートアップ支援の取組を紹介するとともに、同様にスタートアップ支援を行うベルリン州経済振興公社の取組や課題について意見交換を行った。

フランツケ CEO からは、「ベルリンは様々な人が集まり、新たなビジネスが生まれる好循環ができています。特にモビリティ、健康長寿、AI 分野に力を入れており、我々は日本から学ぶことが多いと考えています。愛知県との連携に非常に関心があり、今後、ぜひ愛知県を訪れたい」との発言があった。

最後に、大村知事から今後も情報共有を図り、ベルリン州経済振興公社と本県や本県内の支援機関・企業との交流・連携を進めていくことを提案し、フランツケ CEO からは賛同が示された。

【ベルリン州経済振興公社概要】

○設立：1994年

○ベルリン州と民間出資による半官半民組織。

○従業員：約200名

○主な事業内容

- ・金融、労務、人材雇用・育成などの情報提供
- ・外国人起業家の必要とする許可証発行の相談や情報提供
- ・投資家や関係機関などとのネットワーキング支援
- ・不動産、共同スペース、技術インフラの開発など、協業支援プログラム
- ・ベルリン州企業とのネットワーキング支援
- ・国際的ネットワーキング支援、大学発スタートアップ支援



フランツケ CEO との面談の様子



知事とフランツケ CEO

3 InfraLab（インフララボ）訪問、Solmove 社面談、EUREF-Campus（オイレフキャンパス）視察

(1) 日時

8月19日（月）14:00～15:30（日本時間 21:30～22:30）

(2) 場所

InfraLab（ベルリン・EUREF-Campus 内）

(3) 面談者

ちくしりょうたろう
筑紫遼太郎共同代表

(4) 愛知県側出席者

大村知事、伊藤経済産業局長 等

(5) 内容

初めに筑紫共同代表からスタートアップと大企業が連携してまちづくりプロジェクトを行う「Infralab」と産学行政が共同運営する研究開発拠点である「EUREF-Campus」の説明を受けた後、大村知事から、本県が進めるイノベーションの創出、モノづくり企業とスタートアップのマッチング、海外大学・支援機関との連携、支援拠点の整備検討などの取組を紹介した。

これに対し、筑紫氏からは、「大学発の技術が大企業と結びつくことでベルリンには、次第にスタートアップエコシステムが構築されてきた。そうしたスタートアップの持つ技術・アイデアを是非日本・愛知に紹介したい」との発言があった。

大村知事から、今後も情報共有を図り、交流・連携を進めていくことを提案し、筑紫氏からは賛同が示された。

次に、InfraLabに入居しているスタートアップ「Solmove社」のミューラーCEOと面談し、同社が進めるソーラーパネルプロジェクトについて説明を受けた。

最後に、InfraLabが所在する研究開発拠点である「EUREF-Campus」を視察した。

【InfraLab 概要】

○設立：2017年

○科学研究開発施設「EUREF-Campus」内にある産学行政が共同で運営する共同ワーキング施設。インフラ系大企業とスタートアップが連携して、都市開発分野のプロジェクトを推進。約100社のスタートアップが入居するほか、大企業や大学、政府機関、スタートアップが共同で具体のプロジェクトを実施。

【EUREF-Campus】

○インフラ企業、行政、ベルリン工科大学、スタートアップが研究施設を持ち、スマートグリッドプロジェクトを進める研究開発施設

【Solmove 社概要】

道路や住宅敷地に設置するソーラー発電装置を開発するスタートアップ。道路に敷き詰められたソーラーパネルにより、EVへの充電、情報送信を実現しCO2排出ゼロを目指す。



筑紫共同代表との面談の様子



知事と筑紫共同代表



知事と Solmove 社のミューラーCEO



EUREF-Campus 視察

4 ベルリン州政府訪問

(1) 日時

8月19日(月) 16:00~17:00 (日本時間 23:00~24:00)

(2) 場所

ベルリン州経済・エネルギー・企業局(ベルリン)

(3) 面談者

ノーベルト ヘルマン スタートアップ担当官

(4) 愛知県側出席者

大村知事

(5) 内容

初めに大村知事から、県が進めるスタートアップ支援の取組を紹介するとともに、同様に行政としてスタートアップ支援を行うベルリン州の起業する若者への奨学金制度や行政と民間が連携した資金提供など、最新の取組や課題について意見交換を行った。

ヘルマン担当官からは、「ベルリンでは毎年約500社のスタートアップが生まれている。若者を引き付ける魅力がベルリンにはある。アジア諸国との連携を進めており愛知県と協力できることは大変ありがたい。」との発言があった。

最後に、大村知事から引き続き情報共有を図り、ベルリン州と本県との交流・連携を提案し、今後、連携を進めていくことで合意した。



ヘルマン担当官との面談の様子



知事とヘルマン担当官

5 Factory Berlin (ファクトリー ベルリン) 視察

(1) 日時

8月19日(月) 17:30~18:30 (日本時間 24:30~25:30)

(2) 場所

Factory Berlin (ファクトリー ベルリン) (ベルリン)

(3) 内容

ビール醸造所を改装して誕生したドイツ最大級のスタートアップ・コワーキング拠点を訪見し、施設やスタートアップが活動する環境を視察した。

【Factory Berlin 概要】

- 開設：2014年(元ビールの醸造所をリノベーション)
- ソフトウェア開発など「テック系」スタートアップを中心に、2,000以上の企業が集まる
- 運営者：Factory Works 有限会社
- 事業内容：スペース提供、イベント企画・運営、マッチング事業



Factory Berlin 視察の様子